

平成19年度 決算報告書

国立大学法人旭川医科大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	5,315	5,315	0	
補助金等収入	0	63	63	(注1)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	33	33	0	
自己収入	13,880	14,438	558	
授業料、入学料及び検定料収入	606	612	6	
附属病院収入	13,158	13,633	475	(注2)
雑収入	116	193	77	(注3)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	703	963	260	(注4)
引当金取崩	0	8	8	
目的積立金取崩	448	183	△265	(注5)
計	20,379	21,003	624	
支出				
業務費	16,992	17,621	629	(注6)
教育研究経費	3,283	3,283	0	
診療経費	13,709	14,338	629	
一般管理費	1,121	992	△129	(注7)
施設整備費	33	33	0	
補助金等	0	40	40	(注8)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	703	814	111	(注9)
長期借入金償還金	1,626	1,626	0	
計	20,475	21,126	651	
収入－支出	△96	△123	△27	

○予算と決算の差異について

- (注1) 補助金等収入については、主として大学改革推進等補助金の増により、予算金額に比して決算金額が63百万円多額となっております。
- (注2) 附属病院収入については、平均在院日数の短縮、患者数や手術件数の増により、予算金額に比して決算金額が475百万円多額となっております。
- (注3) 雑収入については、主として科学研究費補助金間接経費の受入れ増により、予算金額に比して決算金額が77百万円多額となっております。
- (注4) 産学連携等研究収入及び寄附金収入については、予算段階では予定していなかった国(の各組織、特殊法人)及び民間からの受託研究や寄附金の獲得に努めたことにより、予算金額に比して決算金額が260百万円多額となっております。
- (注5) 目的積立金取崩については、予算段階では予定していた目的積立金を、取り崩さなかったことにより、決算金額が265百万円少額となっております。
- (注6) 業務費については、(注2)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が480百万円多額となっており、また、年度途中での計画変更により、予算金額に比して決算金額が149百万円多額となっております。

- (注7) 一般管理費については、退職手当支給者の増により、予算金額に比して決算金額が26百万円多額となっており、また、年度途中での計画見直し等により、予算金額に比して決算金額が155百万円少額となっております。
- (注8) 補助金等については、(注1)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が40百万円多額となっております。
- (注9) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注4)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が111百万円多額となっております。

※本学においては、資本剰余金取崩による病院設備購入経費として、診療経費の予算額に96百万円、また、決算額に87百万円を計上しております。